

令和6年度 図画工作授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・基本的な道具や材料の使い方をベースにし、基礎練習を行いながら表現へ応用していくことができた。
- ・自分で考えたこと、やりたいと思ったことを表現することができた。

(2) 課題

- ・色の塗り方や、接着の仕方など、丁寧な作業を心がけること
- ・表現に対して、より高め、深め、追求する姿勢をもつこと

2.授業改善のポイント(課題と対策・観点別)

(1)低学年

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、のり、クレパス、絵の具の使い方に慣れる。 ・表したい形を表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何をどう表すか自分で考える習慣を身に付ける。 ・柔軟で自由な思考力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識した学習活動。 ・片付けの習慣を定着させる。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、のり、絵の具、クレパス等の基本的技能の習得を主眼とした題材を設定する。 ・基本的な描き方や作り方として、技能獲得を主眼とした指導を取り入れる。見本を見ながら描いたり、全員同じ制作物、工程で作成したりする活動を通して、描き方や作り方の基礎を身に着けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもちながら、段階的に表現を深め、広げることのできる表現の段階を設定する。 ・参考作品の提示や全体でアイデアを共有するといった発想の支援を行う。 ・材料の色や形といった手がかりをもとに、作りながら想像を広げていくことのできる題材設定。 ・遊びの要素を取り入れた題材を設定する。 ・自分の想像を表すことのできる題材を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをわかりやすく、具体的に示す。めあてを復唱させる。めあてを達成した活動ができたか、振り返りの時間に発問する。 ・片付けの習慣が定着するよう、片付けの指導に一定の時間を確保する。また何をどのようにするか見本を示し、毎回必ず片付けを全員で行わせる。ゴミの分別も詳しく説明する。

(2) 中学年

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具、カッター、ボンド、のこぎり、金づち、紙粘土といった道具、材料類の基本的な使い方を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いついたままの単純な発想から、想像を広げ、深化させる思考的作業を行い、表現に対して追求する姿勢をもたせる。 ・自分の言葉で作品の発表を行い、表現に対する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を見直し、さらに良くするために、粘り強く取り組む。 ・楽しく、純粋に作るのが楽しいと感じられる活動にする。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具、カッター、のこぎり等の基本的な使い方をベースにし、基礎練習を行いながら、表現へ応用することのできる題材を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体でアイデアを共有する時間や、進捗状況を共有する時間の確保。 ・表現を深める、高めるための段階的、追加的な材料提示や到達目標の提示。 ・Chromebook を活用した資料提示。 ・制作後に自分の作品の紹介や感想を発表する時間を適宜設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な到達目標の設定と到達させるための具体的、個別の支援を充実させる。 ・遊びの要素、操作性の楽しさを取り入れた題材を設定する。

(3) 高学年

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のものであっても、使い方に気を付け、丁寧な作業を心がけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いついたままの単純な発想から、想像を広げ、深化させる思考的作業を行い、表現に対して追求する姿勢をもたせること。 ・構図や全体のバランスを考え、テーマに合わせ、表現を深める。 ・自分の言葉で作品の発表を行い、表現に対する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作時間を意識し、見直しをもって取り組む。 ・楽しく、純粋に作るのが楽しいと感じられる活動にする。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や材料の使い方について、毎回復習、確認を行い、注意点やポイントを意識させて、活動に入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想を練ることを組み込んだ題材を設定する。 ・表現を深める、高めるための追加的な材料提示、到達目標の提示。 ・参考資料の提示。 ・制作後に自分の作品の紹介や感想を発表する時間を適宜設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予定や、今日の授業の到達目標を板書等で提示する。 ・遊びの要素、操作性の楽しさを取り入れた題材を設定する。 ・友達の作品を鑑賞し、お互いに感想を伝え合う活動を取り入れる。